

### (3) 特殊分類（財別）の生産動向

特殊分類とは、それぞれの品目を経済的用途によって分類したものであり、その内容は表4のとおりである。

表4 特殊分類（財別）の分類定義

分類	定義
最終需要財	鉱工業又は他の産業に原材料として投入されない最終製品。ただし、建設財を含み、企業消費財を除く。
投資財	資本財と建設財の合計
資本財	主として家計以外で購入される財で耐用年数1年以上の財
建設財	建築用と土木用の合計
消費財	主として家計で購入される財
耐久消費財	耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高い製品
非耐久消費財	耐用年数が1年未満、又は比較的購入単価が安い製品
生産財	鉱工業及び他の産業に原材料として投入される製品。ただし、輸出用の中間生産物、企業消費財を含み、建設財を除く。

図4は、平成15年以降の特殊分類(財別)生産指数の推移を表したものである。

平成19年は、最終需要財は4年連続で上昇し、生産財は3年連続で上昇した。

図4 特殊分類(財別)生産指数の推移

(統計表11)

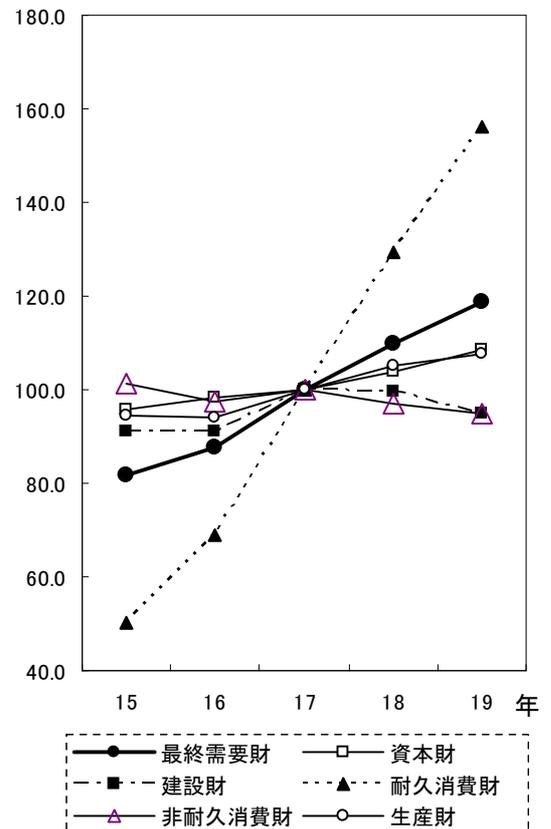


表5 特殊分類（財別）生産指数（統計表11）

	平成19年生産指数	前年比 (%)
鉱工業総合	112.1	4.8
最終需要財	118.6	8.1
投資財	103.9	1.5
資本財	108.6	4.5
建設財	94.9	▲ 4.7
消費財	130.3	12.8
耐久消費財	156.3	21.0
非耐久消費	94.9	▲ 2.0
生産財	107.6	2.5

## (ア) 最終需要財

### I 投資財

投資財の生産指数は、103.9で前年比1.5%と4年連続の上昇となった。内訳をみると、資本財の生産指数は、108.6で前年比4.5%と4年連続の上昇となり、建設財の生産指数は、94.9で前年比▲4.7%と2年連続の低下となった。

### II 消費財

消費財の生産指数は、130.3で前年比12.8%と4年連続の上昇となった。内訳をみると、耐久消費財の生産指数は、156.3で前年比21.0%と4年連続の上昇となり、非耐久消費財の生産指数は、94.9で前年比▲2.0%と2年連続の低下となった。

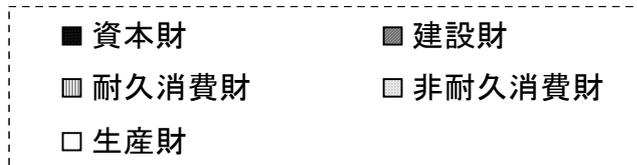
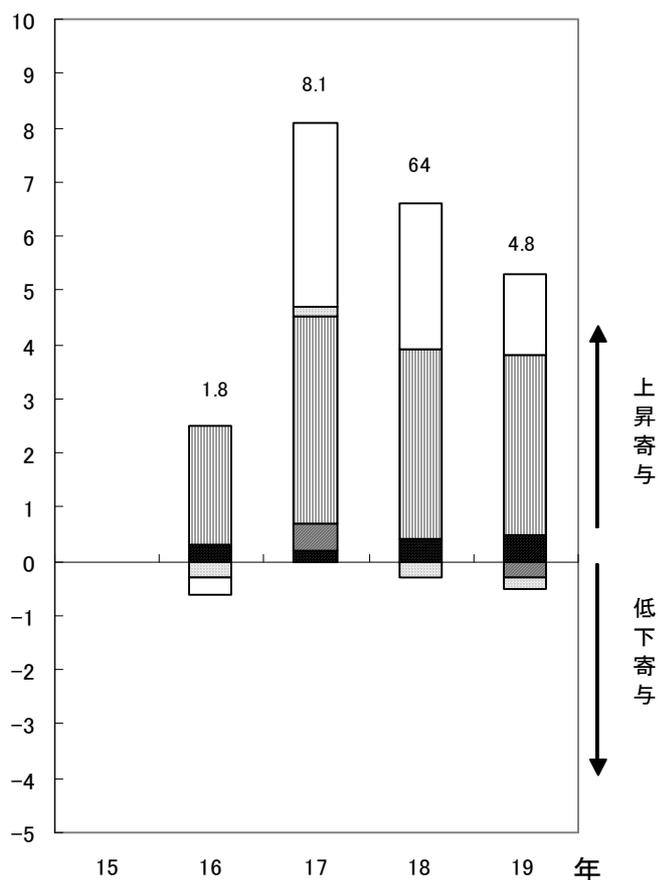
## (イ) 生産財

生産財の生産指数は、107.6で前年比2.5%と3年連続の上昇となった。

図5は、総合指数の伸びに対する財別の寄与度について平成16年以降の推移を表したものである。

19年は、18年に続き耐久消費財、生産財の及ぼす影響が非常に大きくなっている。

図5 鉱工業総合指数の伸びに対する財別寄与度の推移



※グラフ上の数値は、総合指数の上昇率